

令和 7 年 6 月 2 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和7年度から 令和7年度末	
会 社 名	株式会社 サンプロ	
住 所	〒399-0701 長野県塩尻市広丘吉田662-9	
代 表 者 名	代表取締役 青柳 弘昭	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地
担 当 部 署	E X 事業本部	
担 当 者 名	山本 博 090-8683-1976	
連 絡 先	T E L	0263-85-4636
	F A X	0263-85-4633
	電子メールアドレス	h-yamamoto@sunpro36.co.jp
ホームページアドレス	https://sunpro36.co.jp/	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

本年度は産業廃棄物の発生抑制を最重点項目におき、現場毎に産業廃棄物の管理目標を設定し、それを達成するための計画を施工前に策定する。施工段階においては、数値的に状況を随時確認し、状況が好ましくない場合は、施工方法の見直しをするなどして、目標達成のための継続的な努力を行う。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R7 年度目標値	R6 年度実績値	R5 年度実績値	R4 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	4,300	4,163.3	3,216.3	4,371.4
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	3,300	2,808.7	1,912.2	3,107.0
売上高の推移 (円)	8,100,000,000	7,801,061,743	6,694,196,750	4,827,384,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

設計段階においては、工場での加工あるいは組み立て部品の使用率を高くし、現場での端材等の発生を抑制する設計方法を研究、推進する。また、発生端材等を利用したリサイクル製品の研究開発に取り組む。実施段階においては、工程計画及び設計内容を発注前に十分確認し、適正量の適正時期発注に努めるとともに、現場同士の共同発注等を行い、梱包材の発生抑制を図る

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	R7年度目標値	R6 年度実績値	R5 年度実績値	R4 年度実績値
砕石	50%	50%	50%	50%
セルローズファイバー	100%	100%	100%	100%
全 体	75%	75%	75%	75%